

平成23年度 事務事業評価表(平成22年度分に係る報告)

評価対象事務事業名	いわて湯雪王国事業			事業コード	1565
担当課等	所属名	商工観光部 観光課	担当係名		
	課長名	村山悦男	担当者名	菊池 史仁	電話番号

1. 事務事業の基本情報

総合計画体系	施策の柱	活力ある産業の振興	コード 5	施策	地域資源をいかした観光・物産の振興	コード 4
	基本事業	観光地づくりと観光客の誘致	コード 1	関連予算 費目名	一般会計 7款 1項 3目 広域観光推進事業(005-01)	
	特記事項					
事業期間	<input type="radio"/> 単年度 <input checked="" type="radio"/> 単年度繰返 <input type="radio"/> 期間限定複数年度 ⇒(開始年度 平成9年度～)					
事務事業の概要	いわて湯雪王国実行委員会が展開する誘客キャンペーン、旅行商品造成及び受入施設整備(二次交通)に対する負担金の支出並びに当団体に対する指導及び助言。					
根拠法令等	なし。					
この事務事業を開始したきっかけ(いつ頃どんな経緯で開始されたのか)						
平成9年に、冬季の観光客誘致の拡大と圏域の交流人口の拡大を促進することによって生じる経済波及効果による地域の活性化を期待するものとして設立された。						
この事務事業に対して関係者(市民、議会、事業対象者、利害関係等)からどのような意見・要望が寄せられているか						
主に、地域住民からは「ふたりde入浴券」のような地元を対象とした企画商品の造成を、観光関連団体からは冬季観光の推進に資する活動を求められている。						
事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令)はどう変化したか。今後の見通しはどうか						
旅行商品ニーズの多様化と、景気の低迷による旅行消費の沈滞化。						

2. 事務事業の実施状況(Do)

①対象 (誰を、何を対象としているのか)	いわて湯雪王国実行委員会 観光客 市民	⇒	②対象指標 (対象の大きさを示す指標)	A. 実行委員会会員数	単位	団体
				B. 観光客	単位	万人回
				C. 市民	単位	万人
③手段 (事務事業の内容、やり方、手順)	22年度実績(22年度に行った主な活動) 実行委員会に対する負担金の支出 実行委員会事務局として事業の企画・事業実施 会員施設・団体等に対する指導・助言、連絡調整及び事業協力 23年度計画(23年度に計画している主な活動) 実行委員会に対する負担金の支出 実行委員会事務局として事業の企画・事業実施 会員施設・団体等に対する指導・助言、連絡調整及び事業協力	⇒	④活動指標 (事務事業の活動量を示す指標)	A. 実行委員会幹事会等会議開催回数	単位	回
				B. ふたりde入浴券販売枚数	単位	枚
				C. 湯雪王国会員バス利用人数	単位	人
⑤意図 (この事業により対象をどのように変えるのか)	湯雪王国を冬の岩手の旅行商品として定番化させ、観光客の誘致拡大による地域振興を図る。 ふたりde入浴券を発行・販売し、広域圏での交流を促進する。	⇒	⑥成果指標 (意図の達成度を示す指標)	A. 湯雪王国旅行商品での送客数 【指標の性格:●上げる ○下げる ○維持する】	単位	人
				B. ふたりde入浴券利用枚数 【指標の性格:●上げる ○下げる ○維持する】	単位	枚
				C. 【指標の性格:○上げる ○下げる ○維持する】	単位	
⑦結果 (上位基本事業の意図:上位の基本事業にどのように貢献するか)	訪れてみたいと思ってもらう	⇒	⑧上位成果指標 (上位基本事業の成果指標)	アンケート調査「盛岡に行って見たい、訪れてみたい」と思う割合(単位:%)		

2. 事務事業の実施状況(続き)

⑨事務事業の各種指標の実績及び目標値

区分	指標名	単位	20 年度実績	21 年度実績	22 年度計画	22 年度実績	23 年度計画	24 年度計画	目標年度 目標値
対象 指標A	実行委員会会員数	団体	31	31	31	31	31	31	24年度 31
対象 指標B	観光客	万人回	472	459	466	444	472	478	24年度 478
対象 指標C	市民	万人	30	30	30	30	30	30	24年度 30
活動 指標A	実行委員会幹事会等会議開催回数	回	1	1	2	2	2	2	24年度 2
活動 指標B	ふたりde入浴券販売枚数	枚	未集計	未集計	9,500	集計中	10,000	10,000	24年度 10,000
活動 指標C	湯雪王国会員バス利用人数	人	未集計	57	300	集計中	300	300	24年度 300
成果 指標A	湯雪王国旅行商品での送客数	人	未集計	494	1,000	集計中	1,000	1,000	24年度 1,000
成果 指標B	ふたりde入浴券利用枚数	枚	未集計	未集計	9,000	集計中	10,000	10,000	24年度 10,000
成果 指標C									年度

⑩事務事業に係る事業費

区分	指標名	単位	20 年度実績	21 年度実績	22 年度計画	22 年度実績	23 年度計画	24 年度計画	*****
事業費	A	千円	720	720	720				*****
財源 内訳	④国	千円							*****
	⑤県	千円							*****
	⑥地方債	千円							*****
	⑦一般財源	千円	720	720	720	0	0	0	*****
	⑧その他	千円							*****
	合 計 (④~⑧) (=A)	千円	720	720	720				*****
	延べ業務時間数	時間	400	400	400				*****
	職員人件費 (B) (臨時職員賃金は、事務費に含む)	千円	1,600	1,600	1,600	0	0	0	*****
	トータルコスト (A) + (B)	千円	2,320	2,320	2,320	0	0	0	*****

3. 事務事業の評価(See)

必要性評価	① 施策体系との整合性 この事務事業の意図は、結果(政策体系)に結びついていますか？	<input type="radio"/> 見直す余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 結びついている	理由: 観光客増加を目標として旅行商品造成から取り組んでいる。
	② 公共関与の妥当性 市がやるべき事業ですか？ 税金を使って達成する目的ですか？	<input type="radio"/> 見直す余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 妥当である	↳「妥当」とする理由: <input type="radio"/> 法定事務である <input type="radio"/> 内部管理事務である <input checked="" type="radio"/> その他 理由: 観光客の増加は経済波及効果による市の活性化に貢献するものであり、観光客増加を目的としている当団体への負担金の支出は妥当である。
	③ 対象の妥当性 対象の設定は現状のままでいいですか？ 広げられませんか？ また絞らなくてよいですか？	<input type="radio"/> 拡大または絞る余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 現状で妥当である	↳「妥当」とする理由: <input type="radio"/> 法定事務である <input type="radio"/> 内部管理事務である <input checked="" type="radio"/> その他 理由: 現状では、会員、観光客及び地域住民を対象とする事業である。
	④ 意図の妥当性 意図(何を狙っているのか)を絞ったり拡大したりして、成果向上できませんか？	<input type="radio"/> 拡大または絞ることができる ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 現状で妥当である	↳「妥当」とする理由: <input type="radio"/> 法定事務である <input checked="" type="radio"/> その他 理由: 観光産業の活性化により、当市の観光地としての魅力向上に繋がる。
有効性評価	⑤ 成果の向上余地 成果がもっと向上する余地はありますか？	<input checked="" type="radio"/> 向上余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input type="radio"/> 向上余地がない	その内容: 他地域との連携による事業PRの強化、新規会員の参入等企画内容の見直し。
	⑥ 廃止・休止の影響 事業を廃止・休止した場合、施策の成果に及ぼす影響はありますか？	<input type="radio"/> 影響がない ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 影響がある	その内容: 現状では冬季の観光客誘致事業が手薄になる。
	⑦ 類似事務事業との関係 類似の事務事業(国、県、市の内部、民間)はありますか？	<input checked="" type="radio"/> 類似事業がある <input type="radio"/> 類似事業がない	事業名: JRやスキー場等主に民間団体に組織される「いわてウインターリゾート協議会」 ※類似事業がある場合、その事務事業と統廃合又は連携を図ることにより成果向上はできませんか？ 統廃合・連携検討 <input checked="" type="radio"/> できる ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input type="radio"/> できない その内容: 各種観光客誘致宣伝事業
効率性評価	⑧ 事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できる余地はありますか？	<input type="radio"/> 削減余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 削減できない	理由: 当団体の収入が減少傾向にあり、ここ数年来事業費の削減に努め事業を実施してきたが、これ以上の削減は事業の遂行に支障を来す。
	⑨ 人件費の削減余地 成果を下げずに人件費(延べ業務時間数)を削減する余地はありますか？	<input type="radio"/> 削減余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 削減できない	理由: すでに最小限の人員で業務を行っているため。
公平性評価	⑩ 受益機会の適正化余地 受益機会の適正化余地はありますか？	<input type="radio"/> 適正化余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 公平・公正である <input type="radio"/> 特定の受益者はいない	理由: 事業対象が広域であることと事業効果が多方面に波及することから、受益機会に適正化余地があるとまではいえない。
	⑪ 費用負担の適正化余地 受益者の費用負担の適正化余地はありますか？	<input type="radio"/> 適正化余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 公平・公正である <input type="radio"/> 特定の受益者はいない	理由: 現会員はすでに相当の負担金・会費を拠出している。また、会員施設を利用する地域住民にとっては、費用負担(入浴券の購入)をしながら受益者となっていることを踏まえると公平・公正である。

4. 事務事業の改革案(Plan)

改革／改善方向	<p>①改善の方向性(この事務事業をどう変えていくか、廃止や拡充、事業方式改善など) ※複数ある場合は、代替案その1、代替案その2とすること 【代替案その1】当団体の構成団体がそれぞれ実施している各種キャンペーンの統合 【代替案その2】類似の広域団体や前出のいわてウインターリゾート協議会との連携又は事業の統合</p> <p>②改革、改善を実現していく際に想定される問題点は何ですか？ それをどう克服していきますか？ (関連部門や全庁的な調整の必要性、トップへの要望も含む) 会員が広範囲にわたるため、関係団体の意見調整が困難である。 会員が一律に成果を上げられる事業の企画、実施が困難である。</p>
---------	---

5. 課長意見

一次評価	<p>(1)一次評価者としての評価結果</p> <table border="0"> <tr> <td>① 必要性</td> <td>● 妥当</td> <td>○ 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>② 有効性</td> <td>○ 妥当</td> <td>● 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>③ 効率性</td> <td>● 妥当</td> <td>○ 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>④ 公平性</td> <td>● 妥当</td> <td>○ 見直し余地あり</td> </tr> </table>	① 必要性	● 妥当	○ 見直し余地あり	② 有効性	○ 妥当	● 見直し余地あり	③ 効率性	● 妥当	○ 見直し余地あり	④ 公平性	● 妥当	○ 見直し余地あり	<p>(2)全体総括(振り返り, 反省点)</p> <p>岩手県が推進した4王国事業の一つとして発足し、広域連携によるPR活動等により、冬季間の観光客誘致に成果を上げている。</p>
① 必要性	● 妥当	○ 見直し余地あり												
② 有効性	○ 妥当	● 見直し余地あり												
③ 効率性	● 妥当	○ 見直し余地あり												
④ 公平性	● 妥当	○ 見直し余地あり												
今後の方向性と改革改善案	<p>(3)今後の事務の方向性(改革改善案)</p> <table border="0"> <tr> <td><input type="checkbox"/> 終了</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 継続</td> <td rowspan="2"> <input type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない) <input checked="" type="checkbox"/> 改革改善を行う <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 </td> </tr> <tr> <td><input type="checkbox"/> 廃止</td> <td><input type="checkbox"/> 休止</td> </tr> </table>		<input type="checkbox"/> 終了	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない) <input checked="" type="checkbox"/> 改革改善を行う <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 休止							
<input type="checkbox"/> 終了	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない) <input checked="" type="checkbox"/> 改革改善を行う <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携												
<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 休止													
<p>方向付けの理由と改革改善の内容</p> <p>構成団体の市町村、民間事業者、関係機関・団体と連携し、事業内容を見直すとともに、さらなる連携強化に努め、効果的な事業展開を図る。</p>														